

プレスリリース

2018年 6月 21日

国立研究開発法人国立環境研究所
国立研究開発法人海洋研究開発機構

熱水化学合成生態系の回復速度の地図化に成功 ーコンピュータシミュレーションによる予測ー

国立研究開発法人国立環境研究所と国立研究開発法人海洋研究開発機構は、西太平洋全域に点在する深海熱水化学合成生態系ネットワークを再現するコンピュータシミュレーションモデルを開発し、熱水化学合成生態系が攪乱された後の回復速度予測を地図上に可視化することに成功しました。本研究は、海底資源開発を行う前の環境影響評価、開発を行う場所を選定する際の重要な参考情報を提供できます。

本成果は、平成30年6月19日にScientific Reportsに掲載されました。

詳細は[国立環境研究所のサイト](#)をご覧ください。

国立研究開発法人海洋研究開発機構
広報部 報道課長 野口 剛